

令和3年度 学校自己評価及び学校関係者評価表

武蔵村山市立第三小学校

経営理念	地域・保護者と協働して、確かな学力、健全で豊かな心と体の育成を目指す。
------	-------------------------------------

【学校運営協議会・会長】 学校運営協議会（学校評価分）	第1回 1月20日（木） 第2回 2月17日（木） 第3回 3月17日（木）
--------------------------------	--

	経営目標 (中期・短期を明記)	目標達成のための方策	評価指標	自己評価			改善策(来年度の目標設定、具体記取組目標)	学校関係者評価	
				月 目標値 達成値	最終評価 達成度	評価		意見	評価点 (4点満点)
確かな学力の向上	基礎的・基本的な知識・技能の習得（中期）	◇朝学習、宿題等において、e-ライブラリを活用したドリル学習を継続的に実施する。 ◇児童の学力の状況等を積極的に保護者等に情報発信する。 ・専門家等と連携するとともに、支援員等を活用し個に応じた指導の充実を図る。	・学校評価アンケート達成率	80 50.4	63.0%	B	◆適正な教育課程の更なる充実 学生ボランティア等を可能な限り確保するとともに、配置されている支援員を組織的に有効活用していく。15分間の朝学習を確実に実施するとともに、Eライブラリーの個別課題の機能を効果的に活用する。	・分からないという回答が増えている。質問項目の文章の中身を吟味し、分かりやすい質問にすることも必要ではないかと感じる。	3
	思考力・判断力・表現力等の育成（中期）	◇校内の目標である「読書をととして、児童が言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにする」を再認識・共有する。 ・教員・児童による読み聞かせや読書表彰、読書旬間を実施し、多様な読書活動を推進し想像力や表現力を育成する。	・学校評価アンケート達成率	80 73.4	91.7%	A	◆学校図書館全体計画の理解 校内の目標である、「読書をととして、児童が言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにする」を校内で共有し、各学年の読書の時間を適切に進行管理する。	・朝学習での読書が習慣化しているようだという保護者の意見もあり、読書旬間や読み聞かせが児童にとって良い経験になっていると思う。	3.8
	主体的に学習する態度の育成（中期）	◇授業や家庭学習等でタブレット端末を効果的に活用するとともに、研究便り等を通じて、授業改善の様子を積極的に保護者等に情報発信していく。 ・授業や様々な活動において、目標設定、選択の機会を設定する。	・学校評価アンケート達成率	80 69.6	87.0%	A	◆校内研究を要とした指導方法の開発 研究便り等を通じて、ICT機器等を活用した授業改善の様子を積極的に保護者等に情報発信していく。また、GIGAスクール構想（児童一人一台のタブレット端末）に対応した指導方法の開発を校内研究を要に推進する。	・学校に行く機会が減った中で、子供に聞いたり、子供から話をしたりする機会が増え、家族間でのコミュニケーションが増えた家庭もあると思う。1月、コロナ感染が急拡大している中、オンライン授業を高学年で行ったということで、今後はどうなっていくのか知りたい。 ・タブレット使用には個人差が大きいと感じた。	3.4
	学習規律の徹底（短期）	・話し方や聴き方、返事の仕方など学校全体で学習規律を徹底する。	・学校評価アンケート達成率	80 70.8	88.5%	A	◆家庭学習に対する保護者との理解 学習規律を徹底し、宿題などを意図的・計画的に指導するなど児童の基礎学力の定着を推進する。宿題と自主学習時間が極端に減った感じがします。」「学校が宿題をチェックしているのか、今いち分かりません。」などの意見をいただいた。	・宿題や自主学習についての意見が多い。家庭の価値観が多様になり、宿題や自主学習についても学年の発達段階を踏まえ個に応じた指導が必要と感じる。 ・保護者と学校との相互理解が何よりも大切であり、取組についての丁寧な説明が必要である。	3.2
豊かな心の育成	全教育活動を通じた道徳教育の推進及び道徳科の授業改善（中期）	◇保護者会での懇談、地域行事での関わりの中で児童の道徳性を話題にするなど、道徳教育の成果の見える化を図る。 ・道徳科の授業において、児童相互に議論する場を設定するなど、自己の考えが深まるよう指導の工夫を図る。	・学校評価アンケート達成率	80 54.2	67.7%	B	◆保護者・地域と連携した道徳教育の推進 次年度道徳授業地区公開講座をどのような形式でも公開を大前提として、保護者に見てもらおう機会を設ける。今年度、全学級で導入した道徳ノートを継続して活用するとともに、保護者会や個人面談等で道徳ノートを活用した時間を設ける。	・他校（三中）では、表彰された生徒のことや生徒の感想などが記載されているお便りが割と頻りに届いている。 ・先生方と保護者が対面で話すことが減り、学校の先生と話したいという保護者の思いが見て取れる。学校の取組を伝える工夫が必要である。	3.2
	規範意識及び社会性の向上（中期）	◇いじめについて児童が主体的に考える取組を実施する。 ・SCによる面接、いじめアンケート等を活用し、いじめ・不登校の未然防止・早期発見の徹底を図る。	・学校評価アンケート達成率	80 47.9	59.9%	B	◆いじめの未然防止の徹底（保護者との連携の強化） ふれあいアンケートについての報告を丁寧に行うとともに、保護者会にてふれあいアンケートを資料として追加する。代表委員会におけるSNSルールについての活動、たてわり班活動でいじめに関する本の読み聞かせを行う。	・分からないという意見が多い。情報発信のあり方を見直し、動画コンテンツなどを活用した情報開示が有効である。保育園では期限を決めて、保護者会用の動画を作成し発信している。	2.8
	児童一人一人を大切にしたい教育の推進（短期）	◇年3回の服務研修を要として教職員の人権感覚を高揚する。 ・全ての教職員があいさつを実践し、児童・保護者・地域とともにあいさつ運動を強化する。 ・呼名の仕方、掲示物等、児童一人一人を大切にしたい教育を全校あげて実践する。	・学校評価アンケート達成率（R2追加）	80 68.4	85.5%	A	◆教育公務員としてのプロ意識の向上 児童一人一人を大切にしたい指導を、改めて全教員が意識して行う。児童に対して毅然とした態度で指導するとともに、信念をもって児童の指導にあたる。	・行事、イベントでの先生と児童の会話を聞いていると、とても良い関係がうかがえる。三小の子供は、挨拶をよくするという声がかかります。	3.8
健やかな体の育成	健康の増進と体力の向上（中期）	◇体力テストにおいて、個々の目標を設定するなど意欲をもって主体的に活動に取り組むよう工夫する。 ・体育の授業改善を始め、丘の上スポーツタイム等の体育的活動の充実を図る。	・学校評価アンケート達成率	80 85.1	106.4%	A	◆コロナ禍における体育的行事の充実 今年度、感染症対策として見直しを図った体育的行事について、活動計画を充実させる。	・子供の言葉からプラスの話を聞けば、学校に対して良い印象をもち、マイナスの話を聞けば悪い印象をもつことになる。学校の様子を伝える工夫が必要である。 ・水曜日、朝の運動が児童の集中力にも繋がっているとのこと、続けていただきたい。	3.6
	感染症の予防（短期）	・換気、手洗い、マスク着用、毎日の検温など、感染症対策を徹底するとともに、全教育活動において三密を防ぐ校内体制・環境整備を構築し、新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底する。	・学校評価アンケート達成率	80 85.9	107.4%	A	◆感染症対策の徹底 児童に対する指導及び校内の環境整備等、換気や消毒、手洗い、マスク着用などの感染症対策を徹底させ、今後も児童・保護者の安全・安心に努めていく。		3.8
特色ある学校づくり	オリンピック・パラリンピック教育の推進（中期）	・芸術家、アスリートや外国人等との交流を行い、国際理解・国際感覚の醸成を図る。 ・5・6年生（70時間）、3・4学年（35時間）、1・2年生（20時間）の英語学習を行い、英語への関心・意欲を高め、コミュニケーション力の向上を図る。	・学校評価アンケート達成率	80 77.5	96.9%	A	◆英語教育に関する校内環境及び校内体制の更なる構築 英語教育を全学年に位置付け、年間計画に基づいた計画的な指導を展開していく。また、英語教室（ヒルトップ・ルーム）を設置し、ALTや英語学習支援員を効果的に活用していく。	・保護者への要望に全て答えていくことは難しい。でも多様な考えがあることを学校は知ってほしい。	4.0
	地域とともに歩む学校（中期）	◇地域未来塾を立ち上げ、地域の人材を活用した事業を新規に開設する。 ・コロナ禍において活動を工夫しながら、学校運営協議会を中心に、保護者・地域と協働した活動を通じ、児童の健全育成を図る。	・学校評価アンケート達成率	80 79.2	99.0%	A	◆「地域と共に歩む学校づくり」の更なる推進 CS会議を要とし、青少対、グリーンサポーター等と連携してコロナ禍における年間活動計画を策定していく。社会に開かれた教育課程の実現を目指し、学校と地域が連携した取組を進めていく。	・地域活動に尽力しているつもりですが、やはりPRがまだまだ足りないと感じている。このような意見があることを真摯に受けとめ改善していく。 ・地域未来塾は、子供たちも楽しそうに学習していて、とてもよかったと思う。委員との情報交換の大切さを考えさせられます。	3.8
	情報発信力の強化（短期）	・ホームページ、学校公式ツイッター等を通じて、リアルタイムな情報発信に努める。	・学校評価アンケート達成率	80 88.8	111.0%	A	◆情報発信手段の効果的な活用 コロナ禍における効果的な情報発信手段となる、学校ホームページ及び公式ツイッター等を今後も積極的に活用し、学校の教育活動をリアルタイムに発信していく。	・ツイッター等を通して、学校での子供たちの様子や、何が行われているのかがよく分かった。	4.0

【達成度】 = [達成値] / [目標値]  
【評価】 A：8割以上→目標達成とみなし新たな目標設定

B：8割未満5割以上→8割を超えるまで継続実施

C：5割未満→目標の見直し

平均値

3.5